

# コンピュータを活用した保健学習

深谷中学校

## 1 単元名 タバコが及ぼす影響について

### 2 単元の計画（1時間扱い）

- (1) 事前：喫煙に関するアンケートの実施  
学区内のタバコの自動販売機数調査
- (2) 第1次：「タバコの害と健康について考えよう」

### 3 本時の学習指導

- (1) 本時の活動テーマ：「タバコの害と健康について考えよう」
- (2) 本時のねらい

成長が著しい未成年の喫煙は、特にからだへの害が大きいことを理解させ、未成年の喫煙が法律で禁止されている意義を理解させる。

(タバコに関するアンケート結果、パワーポイント視聴から)

国の政策として、タバコが規制されていない現状に目を向けさせ、自分たちが興味を持てば手に入れやすい環境におかれていることに気づかせる。

(学区内自動販売機数の地図、タバコに関するアンケート結果から)

タバコの害から身を守ることにについて考え、誘惑に負けない強い意志を育てる。

### 4 情報機器活用の意図・情報教育の視点

- (1) パワーポイントを使うことにより、生徒に視覚で「喫煙がいかに関に体に害を及ぼすか」をわかりやすく、また短時間で提示するために有効である。
- (2) 授業効率がよく、映像やアンケートデータのインパクトもあり、生徒の注意や集中力を持続させるために有効である。また、授業にリズムができ、指導案を組み立てやすい効果もある。

### 5 展開 は評価

	学習内容・活動	指導上の留意点	資料
導入	喫煙に関するアンケート結果について知る。(T1) ・タバコに興味のある生徒がいる。 ・半分以上の家庭に喫煙者がいる。	クラスの中にもタバコに興味のある生徒がいることに気づかせる。 自分たちの身近にタバコがあることに気づかせる。	パソコン プロジェクター

タバコに関するアンケート結果

深谷中学校 1年2組

タバコに関するアンケート結果①

- クラスの半数以上の家に喫煙者がいる。
- 今現在、タバコに興味のある人がクラスにいる。
- 20才になってタバコを吸ってみたい人がいる。

タバコに関するアンケート結果②

- 約6割の人が「やめた方がしんどい」と答えているが、約4割の人が「本人の自由だ」という意見である。

展開

タバコやタバコの身体への影響について確認する。(生徒の発表)

タバコの有害物質について

- ・ タール ・ ニコチン ・ 一酸化炭素

タバコの身体への影響について説明や実験から知る。(生徒の発表、実験はT2)

- ・ 喫煙による身体への影響 (肺・血管・老化・歯)
- ・ 喫煙によるタバコから出る煙・臭い・含まれている成分

タバコに有害物質が含まれていることをおさえる。

タール・ニコチン・一酸化炭素のからだへの影響について具体的に説明する。

大きな声ではっきりわかりやすく説明させる。

全員がしっかり見える位置で実験をする。

窓を開け換気に気をつけ実験する。

パソコン  
プロジェク  
ター



## 6 授業の感想 (生徒より)

タバコは、ただの「危険」という言葉しかなかったけれど、今日の授業を受けてタバコを吸うのは「自分の寿命を縮める恐ろしい物体である。」ということがよくわかりました。その他にも「ガンになりやすくなる」「1本だけでも危ない」ということも勉強できました。さらに、子供が吸うと大人の何倍も危険だということもわかりました。タバコは吸いたくないと思います。

未成年者がなぜタバコを吸ってはいけないかが、よくわかりました。大人になる前は、細胞が発ガン細胞になってしまうことがわかりました。私は未成年者の48%の人がタバコを吸っていることにびっくりしました。口の中にも害があり、命にかかわることも初めて知りました。

## 7 備考

この授業は『保健主事・保健主任合同研修会』(12/11)に深谷班の先生方(保健主事・養護教諭)を対象に行われました。指導者に深谷警察署少年補導員の方もお招きし、深谷班保健主事会主催で行われたものです。